

授業科目	哲学		単位数	2	必修		前期		達成度の点検 (できる54321できない)			
一般科目	○	専門科目	選必	○	選択		後期					
受講学生	学科	全学科		学年	5年		通年	○				
担当教員	学科	一般教科		氏名	千田芳樹							
授業の目標概要	西洋哲学史を通じて、各時代の哲学思想を理解する。併せて各時代の哲学思想の生み出されてくる社会的および歴史的な背景についての理解を養う。											
対応する本校の教育目標	B-1, B-2											
履修上の留意点	授業前に教科書の該当箇所に通し、授業中にはノートを取ること。											
日程	授業項目			評価内容								
前期	第1週	哲学とは何か		哲学という学問の特色が理解できる								
	第2週	古代ギリシャ哲学		哲学の起源である古代ギリシャ哲学の歴史的展開および各々の哲学者の学説が理解できる。								
	第3週	(1) 自然哲学とソフィスト										
	第4週											
	第5週	(2) ソクラテス										
	第6週			主にアウグスティヌスおよびトマス・アクィナスの哲学が理解できる。								
	第7週	(3) プラトン										
	第8週											
	第9週	(4) アリストテレス										
	第10週			達成度の点検								
	第11週	中世哲学										
	第12週											
	第13週											
	第14週			大陸合理論とは何かが分かり、この立場に属するデカルト、スピノザそしてライプニッツの思想が理解できる。								
	第15週	達成度の点検										
第1週	近世哲学		経験論とは何かが分かり、この立場に属するベーコン、ロック、バークリーそしてヒュームの思想が理解できる。									
第2週	(1) 大陸合理論											
第3週												
第4週												
第5週			大陸合理論とイギリス経験論と統合する立場に立つカントの批判哲学が分かり、その継承者であるフィヒテ、シェリング、ヘーゲルの思想が理解できる。									
第6週	(2) イギリス経験論											
第7週												
第8週												
第9週			達成度の点検									
第10週	(3) ドイツ観念論											
第11週												
第12週												
第13週			試験結果(100%)で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。西洋哲学史の大要の理解の程度を評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。									
第14週												
第15週												
期末試験の回数	(2 回)											
授業時間数	(50 時間)											
評価方法 評価基準	試験結果(100%)で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。西洋哲学史の大要の理解の程度を評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。											
関連科目	倫理 工業倫理											
	書名			著者名		発行所	定価					
教科書	西洋哲学史(改訂版)			岩崎武雄		有斐閣	2100円					
参考書							円					
オフィスアワー(教員在室時間)	授業の際にお知らせします											